

●R4年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
	②学校と地域の課題	その他	学校運営協議会制度及び地域学校協働活動への理解度について温度差があり、令和5年度一斉導入に向け理解度を上げる必要がある。	・地域学校連携アドバイザーが各学校を訪問し、支援や助言を行う。 ・学校運営協議会委嘱予定者や学校関係者に対する研修会を行う。	研修会や講演会への参加者が増え、学校運営協議会制度及び地域学校協働活動への理解度が深まり、先行導入する学校が増える。	学校運営協議会制度及び地域学校協働活動の選考導入校数	0	校	10	18	4 ・研修会や講演会の回を重ねることで参加者が増え、学校運営協議会制度及び地域学校協働活動への理解が深まった。 ・研修会や講演会の講師やアドバイザーの助言、先行導入した学校の話を聞くことで不安が解消され、先行導入する学校が増えた。 ・各地域で現在行われている地域学校協働活動を、学校運営協議会(地域学校協働本部)の中で洗い出し把握することで、さらに地域で必要とする活動へとリノベーションし、そこに関わる地域の資源や人を増やしていく必要がある。